

(別添 5)

記録の記載例

工場長	環境安全衛生部長	総務課長

調査等の対象	実施年月日	実施管理者	実施者
〇〇〇〇製造 工場	平成〇年〇月〇日	衛生管理者 〇〇〇〇	化学物質管理者 〇〇◇◇ □□研究室 □□〇〇室長 工務課 ◇◇〇〇係長

No.	化 学 物 質 等の名称	危 険 性 又 は 有害性 社内ランク	作業の種類	負傷が発生する可能性の度合又はばく露 の程度 作業の状況 危険性又は有害性	取扱量	負傷又 は疾病 の発生 可能性	リスク低減対策	採用したリスク低 減対策	措置 後の リス ク
						リスク 優先度			
化学物質名：〇〇〇〇 GHS 分類等：酸化性固体・区分 3・事業場内区分 s-C、皮膚刺激性・区分 2・事業場内区分 h-C 荷姿：粉状、10Kg 紙袋、月 200kg									
1	〇〇〇〇	s-C h-C	倉庫搬入	パレット上の袋をフォークリフトで搬入 防じんマスク、保護手袋、保護眼鏡着用 1 人での作業 破袋のおそれ	200 Kg/月 1 回	Ⅳ	包装を袋からコンテナへ変更 粉状形態から粒状形態に変更 誘導者の配置 保護具着用の一層の徹底	粉状形態から粒状 形態に変更	3
						4			
2	同上	同上	反応槽への 投入	袋の上端を切断し、投入口から投入 1 人での作業 全体換気装置あり 防じんマスク、保護手袋、保護眼鏡着用 周辺に 3 名の持ち場 周辺への飛散のおそれ	10Kg/1 日 1 回	Ⅲ	包装を袋からコンテナへ変更 粉状形態から粒状形態に変更 局所排気装置の増設 保護具着用の一層の徹底	（納入者との協議 開始） 保護具着用の一層 の徹底	1
						3			

3	同上	同上	空袋の処理	同上 投入後袋を折りたたんで所定の置き場へ 1人での作業 全体換気装置あり 防じんマスク、保護手袋、保護眼鏡着用 周辺に3名の持ち場 残留物の飛散のおそれ	1袋/1日1回	Ⅲ 3	包装を袋からコンテナへ変更 粉状形態から粒状形態に変更 局所排気装置の増設 保護具着用の一層の徹底		2
4		同上	反応	物質Bとの反応。発熱反応。 反応槽周囲5名の持ち場 温度で制御 制御失敗のおそれ	10Kg/1日1回	I	制御用温度センサーの二重化 現状リスクの受け入れ	制御用温度センサーの二重化	2
						2			
化学物質名：〇〇△△ GHS分類等：急性毒性・区分4・事業場内区分h-D 荷姿：液体、500gビン入り 沸点50℃									
5	〇〇△△	h-D	製品Aの加工時付着油脂払拭	1人での作業 個人ばく露測定結果あり、MOEは3.4	10g/d 2h/d	くばく露限界 1	代替化学物質等の調査 現状の維持	現状の維持	1